

令和6年度新旧合同実行委員会報告

日頃よりPTA活動にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

令和6年4月27日（土）、Zoomにて令和6年度新旧合同実行委員会が行われましたので下記の通りご報告いたします。この委員会は、今年度新たに各委員会の委員長・委員になられた方々と昨年度実行委員を務めていただいた方々にご出席いただき、令和6年度PTA定期総会報告書の報告事項を審議するために行われました。

また、PTA総会は集会形式ではなく、さくら連絡網を使用したWeb書面による審議とさせていただきます。報告事項の詳細については、5月11日（土）にさくら連絡網で配信いたします。

会員の皆さまにはお手間をおかけ致しますが、ご理解ご協力の程、よろしくお願いいたします。

記

1. 福山会長挨拶

本日は新旧委員の方が合同でご参加いただいていると伺っています。そして今回をもって、継続される委員の方以外はもうすぐ任期を終えることとなります。今日はそのあたりについて一つ気になっていることをお伝えしたいと思います。

実際に委員の業務をやってみて、想像のとおり大変だったという方は今までに多くいたと思います。ただその反対に、思っていたほど大変じゃなかったと、そんな風に感じる方がいらっしゃる場合のお話です。これはもちろん人によって状況が違いますが、以前にもそう感じた方がいたかもしれません。

これは他の小学校の委員の方ともたくさん交流している中で実際にお聞きしていることなんですけれども、仮に思ったほど大変ではなかったと感じても、なぜか委員の業務は辛くて、我慢して、頑張っってなんとか終わらせたとか、そんな風に周りの方にお伝えする方が多いようなんです。つまり事実とは異なることを周りの人に伝えるということです。これはどうしてなのか、この数か月ぼんやりと考えていました。なんとなくわかるような気はするんですけども、突き詰めると本当のところどういうお気持ちなのかと。

そして大変な業務をこなしてきた“先人”たちに一つの共通するパターンとなるような“心理状態”があるんじゃないかと、いろんな関係者の方とお話をしているうちにわかってきたことがあります。

それをお伝えする前に少しか現状に触れたいと思います。少なくとも本校の事例にはなるんですけど、ここ数年でのPTA委員は毎年一年単位で構成員が入れ替わってきました。新しい委員の方は当然その都度初めての業務に戸惑うわけです。それでも短期間に新しい人間関係を構築しながら、さらに前年度の実績を参考にして、必死に連絡を取って周囲の方と相談しながら何とか業務を行わざるを得ないというのが実態です。

ようやく慣れてきたら、また人が入れ替わってしまうと。これではみんな苦しいのは自然な流れかと思います。これは構造的な問題と言えます。しかもやっている業務は多くの場合、気乗りしない厭な業務なわけです。日常生活の傍らそんなことをするなんて簡単ではありません。委員業務でご尽力された方は、大変な中でそんなことを一年間やり抜いたわけです。

さらに言いますと、今まで委員を受けてくださった方の中でも、その動機付けにはいくつかの段階があります。例えば、他に誰もいなければ引き受けてもよいとか、今のうちに厭なものを消化しておくとか、そういったものですね。そしてそのうち最も辛い段階にあるのは、半ば強制的に選出された方だと思います。このような方が今この場にもいらっしゃるかと思います。今までそうだった、というのも事実だと思います。

そこで沸き起こってくる最も辛い段階にある委員の方の心理状態には、一つのパターンがあるようです。それはつまり、自分がこんなに厭で大変な業務をしてきたのだから、後に続く保護者が明るい顔をして、楽をするのは赦せない、大まかにはこういったことがあるんじゃないかと。他校の保護者の方と交流する中で辿り着いた一つの仮説です。

ですので先ほど出た例で、そんなに大変だと感じなかった場合でも、多くの方はなんとなくそんな空気を感じ取って、そういった苦しい思いをした“先人”たちの手前、なかなか本心を打ち明けることができないという暗黙の了解があるのだと。理屈としてはわかると、そんな風に思います。

このときの辛い段階の“先人”たちの心理状態についてももう少し踏み込むようですけれども、これは要するに、その“心が傷ついている”ということじゃないかと、そのように考えました。“心が傷ついている”と表現する意味が、うまく伝わりますでしょうか。厭なのに何かの業務をやることになってしまったら、誰だって傷つきます。傷ついたら、きっと哀しいですよ。哀しかったら、誰かの良い話を素直に喜ぶことは難しいと思います。私だったら出来ないと思います。

それは別の言い方をしますと、“心の安心感”が無いんです。だったらその心の安心を作り出す必要があります。それが出来たら、今度はそれを多くの方に伝えていく必要があります。

この令和5年度委員の方にはいろんなご無理をお願いして、委員の方が楽になるように、少しずつ業務を良くするという作業を積み重ねてきました。この恩恵を受けることが出来るのは、大変恐縮な言い方にはなるんですけれども、次年度以降ということになるかと思います。今回で委員業務からは卒業される方が今どんなお気持ちでいるのか、胸が詰まる思いです。

お伝えしたかったことがあります。それは、これから先ほどの表現でいうところの新たな“先人”となる方が出てくることになります。その方たちが、後に続く人が委員業務はそんなに大変ではなかったと、そんなお話を聞いたときに、それは何よりの“良い知らせ”だと、そう感じていただけるようなチームにしていきたいということを、今日は多くの方がいらっしゃる中で聞いていただける一つの機会だと感じたのでこのことをご紹介します。と思いました。

最後に変なお話を差し込んでしまうようですが、私がこの役目をお受けする前は通常の役員として在籍していたんですけれども、前委員の方々が一生懸命に業務を繋いでいただいているときに、私はなんだか身が入らずに上の空のことが多くて、大変お恥ずかしいのですが、空を見上げてはこの“宇宙の端っこ”がどうなっているのかとか、そんなことをよく空想していたのを思い出します。

今まで勤めてくださった委員の皆さんとは一旦これでお別れということにはなります。いつもお互いに怖い顔をして忙しい忙しいと呟いている毎日かもしれませんけれども、またどこかですれ違った際には、時には深呼吸をして、同じこの“宇宙の暇人”としてご挨拶出来ましたら嬉しいです。改めて、本校の全ての“先人”のみなさんにお礼を伝える場にしたいと思います。心から感謝いたします。

2. 大木校長先生挨拶

本校PTA新旧本部役員・実行委員の皆様、おはようございます。

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りまして、ありがとうございます。

初めてお目にかかる方も多くいらっしゃるものと存じます。

私は前任の河野校長先生の後任として、4月より本校に着任いたしております、校長の大木直之でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

PTAの皆さまには、入学式からお手伝いいただいているのにもかかわらず、ご挨拶が遅れておりますこと申し訳ございません。この場をお借りして少しご挨拶させていただきます。

今年度は、97名の新一年生を迎え、児童数は522名、425家庭でスタートしました。

学校の様子ですが、始業式・入学式から3週間が経過いたしました。皆様のご理解とご協力のお陰で、本校におきましては、全児童、全職員が、元気に学校生活を送っております。ホームページ等で本校のこどもたちの活動の様子を少しご覧いただいているかと思いますが、全学年がクラス替えをした中で、ルールを覚え、友達と関わりながら成長しております。新しいクラス、新しい担任、新しい学習に少しずつ慣れていくこどもたちを見守ってまいりたいと思っております。

さて今日はPTAの新旧実行委員会ということで、お集まりいただきました。

私も子をもつ親の一人として振り返ってみますと、PTAのお仕事は、なかなか大変なことです。しかし、こどもたちの心身の健全や安全を守るためには、必要不可欠な存在であると考えています。

旧本部役員・実行委員の皆様には、これまで、越中島小学校のこどもたちのために、様々にご尽力いただきまして、本当にありがとうございます。ご家庭やお仕事との兼ね合い等の中で、かなりご苦勞をされたことと拝察しております。本当にありがとうございます。

また、新本部役員・実行委員の皆様におかれましては、これから、大変にお世話になります。もしかしたら運営の中で、例年通りにいかないことや、新たに考えなければならないことも出てくるかもしれません。大変ご多用な中での重責ではございますが、これまで同様、ぜひ、越中島小学校の宝である、こどもたちために、お力を貸していただければと思います。

学校もPTAの皆様と密に連携をとり、共に頑張っていく所存です。こどもたちのために、子育てのプロであるPTAの皆様と、教育のプロである教職員が最強タッグチームを組んで、活動してまいりたいと思います。

これから一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

以上、挨拶とさせていただきます。

3. 檜本副校長先生挨拶

4月に着任いたしました副校長の檜本泉です。江東区内の辰巳小学校で副校長を3年間勤め、こちらに異動して参りました。

私は、4月8日の入学式で大変驚いたことがあります。それは、多くのPTAの皆様方が受付や誘導のお手伝いをしてくださったことです。

皆様方のボランティア精神、「他の保護者の方やこどもたちのために貢献しよう」という姿勢に感嘆しました。本当に頭が下がる思いです。ありがとうございました。

その姿勢は、こどもたちにも伝わっているはずです。皆が助け合うことの大切さを背中で見せてくださっています。各学校でPTAが縮小傾向にある今の時代、これは当たり前のことではないと思います。

皆様方のこの温かさに感謝し、教職員一同、有り難さを忘れず、こどもたちの教育に尽力したいと思います。

また、子ども達には、いろいろな保護者の方々に見守られて、育てられているのだ、ということを伝えていきたい、と考えています。

これから、PTAの皆様と力を合わせ、こどもたちを真っ直ぐに育てていく所存です。

1年間、何卒よろしくお願いいたします。

4. P T A定期総会 報告事項についての審議

- ① 令和5年度 P T A事業報告
- ② 令和5年度 P T A収支決算報告
 - 収支決算報告
 - 会計監査報告
- ③ 令和6年度P T A定期総会報告事項
 - I. 越中島小学校P T A会則改正について
 - II. P T A会費の引落日回数変更について（年2回に変更）
 - III. さくら連絡網の使用継続について
 - IV. 学校公開のお手伝いについて
 - V. 令和6年度以降の講演会開催廃止について【保健体育文化委員会より】
 - VI. 「歓送迎会」及び「餅つき大会」の開催無期延期について
- ④ 令和6年度 P T A事業計画案
- ⑤ 令和6年度 P T A会計予算案
- ⑥ 令和6年度 P T A役員及びP T A会計監査の選出について
（令和6年度本部役員候補者名簿、令和6年度委員会名簿 参照）

以上6事項に関し、本新旧合同実行委員会にてご承認いただきました。

内容の詳細につきましては、令和6年度P T A定期総会報告書をご参照ください。

以上



令和5年度の各委員会の委員長・副委員長・学代のみなさまには、

お忙しい中、実行委員として1年間P T A活動にご尽力いただき、

本当にありがとうございました。

令和6年度の各委員会の委員長・委員のみなさま、これから一年間

よろしくお願いいたします。

